

パークガイド

PARK GUIDE

2013
Vol.4



みやざき臨海公園 [サンマリーナ宮崎]

パークガイド

NO.4 2013年3月発行

編集・発行/一般財団法人 みやざき公園協会 〒880-0014 宮崎市鶴島2丁目10番25号
TEL.0985-25-7410 FAX 0985-25-7390 URL <http://www.mppf.or.jp> Email: park@mppf.or.jp

花・風・光を感じて——公園を楽しもう！



このパークガイドは、一般財団法人みやざき公園協会が指定管理者として管理している公園の情報をお届けするものです。今回は、主に公園現場スタッフの思いや、スタッフが地道に取り組んでいるプロジェクトに焦点をあてて紹介しています。

CONTENTS

誕生・成長・成熟。公園にはドラマがあります。…3

～誰もが楽しめる公園を目指して～

サクラの花見ができる港づくり [みやざき臨海公園] ～ …6

開放的な海と空、緑の空間でゆったりと流れる時間を楽しんでもらいたい。…7

[県立青島亜熱帯植物園]

花も虫もみんな仲間～自然と遊ぼう～ [萩の台公園] …8

公園が好き …10

～子どもがはじめて出会う自然が、身近な公園。

きっと大人になっても、公園の自然が好きだと思う。～

シュンラン再生計画 リポート[1] …12

花カレンダー …13

初夏の風物詩 [紫陽花] …14

わがまちは花の楽園 ～みやざきフラワーマンス始動～ …16

花もスポーツも…ちょっと欲張りな公園三昧 …18

誕生・成長・成熟。公園にはドラマがあります。

誰もが楽しめる公園を目指して



公園は憩いと安らぎの空間

みやざき公園協会に入社して10年余り、公園所長を7年間勤めてきました。数箇所の公園所長を歴任しましたが、公園の利用方法や設置目的の違いなどで、公園というひとくくりの言葉のなかにも様々な個性があるものだと思っています。

誕生・成長・成熟と人間の人生には誰でもドラマがあります。公園を人の一生と置きかえると分かりやすいかもしれません。公園の誕生には様々な喜びや楽しみ、産みの苦しみがあります。5年、10年、公園によっては誕生までに何十年と長い準備期間を経て開園を迎えます。

我々公園管理者は、誕生してから係わることになりますので、公園の設置目的に沿って管理運営に携わるわけですが、実際には予想外の出来事も多々起こります。例えばグラウンドの排水溝の傾斜角度が緩く雨で水浸しになったり、思わぬ危険箇所の発見など、想定外の出来事に対応しながら、公園の成長とともに歩むことになります。

公園は出会いの場

公園管理の仕事をはじめた頃は、目が施設にしか行き届かなかったこともありました。樹木の剪定時期や芝生に生える雑草、四阿やベンチの具合など、きれいで事故のないようにする事だけを考えていました。

松田 裕光

一般財団法人 みやざき公園協会
宮崎市久峰総合公園所長



趣味は食べ歩き。私も妻もふくよか。
おいしいものか、メタボか、悩む日々です。



子どもは遊びの天才…でも危険もいっぱい



河津ザクラの植栽イベント



アジサイの挿し木教室



久峰さくらまつり

しかし、毎朝散歩をしている方たちと挨拶を交わしているうちに、次第に家族の事やペットなどの会話に華が咲くようになり、その頃から私のなかで意識が変化してきました。

公園で「人と人」が出会う…例えば「花」が好きな人同士が花壇の前で、品種の話や植え替え時期の話などをしている時は、とても楽しそうです。そこには会社の肩書きもなければ、人間関係の悩みもありません。職場のむずかしい顔ではなく、「穏やかで楽しい顔」になっています。

公園で「人と人」、「人と自然」が出会う…公園管理者は、そのためのステージとして「花壇をきれいに」「ケガや事故が起きないように」管理していると考えようになりました。

季節の移ろいを花で感じられる公園づくり

私が公園所長を勤めている「久峰総合公園」は、宮崎市北部の佐土原町にあります。市街地と郊外の接点にあり、自然環境とスポーツ施設がほどよくマッチした市民の憩いの場です。

特に約1,000本の桜と約1,700本のアジサイは圧巻で、古くから花見の名所で知られています。そこで、より一層の花の名所づくりをすすめることにしました。花を楽し

める期間を長くするために、2月中旬から3月上旬まで花が楽しめる河津ザクラを植栽し、3月上旬からのヤマザクラ、3月中旬からのソメイヨシノへと桜の花のリレーを実現しました。さらに、4月から5月にかけてのツツジ・フジ、6月からのアジサイへと続く開花リレーは好評で、季節感いっぱいの公園に成長してきました。

河津ザクラの植栽では、初めて「桜オーナー制度」を取り入れました。サクラの前にプレートを用意し、オーナーの方たちに思いのコメントをお願いしました。

内容は多彩で、「親から子どもに」「夫から妻に」「孫から祖母に」など様々です。「おじいちゃん、いつも遊んでくれてありがとう。いつまでも元気で」「無事に定年を迎えられたのは妻のおかげ。これからもよろしく」など心打たれるものが多く、桜への思いと家族愛などが伝わってきました。

河津ザクラの植栽当日は各オーナーに集まってもらい、育樹イベントを開催しました。家族で楽しみながらの参加者が多く、桜の前で記念写真を撮ったり、遠方から帰省して駆けつけた人もいて、大盛況でした。

つくづくイベントを企画してよかったとスタッフ一同感動を覚えました。

公園は生きている

天候や季節、利用者などの要因で園内は様々な表情を見せます。私は毎日園内パトロールを行い、その変化を敏感に感じるようにしています。落ち葉や枯れ枝の具合、遊具のちょっとした変化や細かい危険箇所などを見逃さないために、時間の許す限り徒歩で行っています。

建物も設備も時間とともに劣化してきます。小さいものではテニスのネットや照明用のライト、給排水施設などの軽微な不具合などはパトロール時に発見し迅速に対応していきますが、見つけれられない現象もあります。

ある時、久峰食堂前の桜が突然倒れました。強い風が吹いているわけでもなく、前日の夕方まで異常はなかったのですが、ベンチを直撃する勢いで倒れました。樹木医の診断では樹勢が弱っていたとのことで、通常のパトロールでは発見が難しいことでした。すぐに全ての樹勢が弱っている桜に安全対策を施したのは言うまでもありません。怪我人が出なかったのが不幸中の幸いだと胸をなでおろしつつ、「公園は生き物」だと、つくづく感じました。

職業病かもしれない

公園管理の仕事をしていると、「わー

ん」という子どもの泣き声に過度に敏感になってきます。園内パトロール中に遊具付近で子どもの泣き声を聞くと「ケガ」の二文字が頭に浮かび、「何事が起きたか」と直ぐに駆けつけます。しかし兄弟ゲンカやお父さんやお母さんに怒られているなど、多くの場合たいした事もなく済んでいます。

ただ敏感さが身に付いてしまい、プライベートでもしばしば発揮することになってしまいます。道路を歩いている時やショッピング中でも、子どもの泣き声に敏感に反応し、妻からは「またか」の冷たい視線を受けることになります。

今後の公園管理に必要な心構え

「安全」「安心」は公園管理における基本中の基本。公園管理スタッフとしては、それに「愛情」を加えたいと思います。

小さな子どもが笑顔で過ごせるように、愛情を込めた視線から公園管理を見つめ直すことで、「ふる里」の公園が利用者の心に残ることになると思います。



サクラの花見ができる港づくり

みやざき臨海公園

花見の名所は数々ありますが、「港で花見」はあまり聞きませんね。

みやざきの海を楽しみながら花見がしたい!。そんな希望に応えるために、みやざき臨海公園では「港で楽しめる花見の名所づくり」に挑戦しています。

花見といえばサクラ。しかし、強烈な潮風をまともに受け、しかも埋め立て地なので、土壌環境も恵まれていないなど、植物を育てるには過酷な条件がそろっています。まず最初に耐潮性のあるサクラ探しから始めました。

全国で海辺のサクラの名所を探すと、玄界灘に浮かぶ長崎県壱岐島が有名で、この地では古来から「ヤマザクラ」が島のあちこちに自生しています。日本古来のツクシヤマザクラが海岸という環境でも生活できるように進化したものだそうで、20種類ほどあることが分かりました。

次に土壌改良を行いました。植栽予定地は埋め立て地で植物の生育には不向きな

で、深さ1メートル、径1メートルほど掘り下げ、土壌改良材を投入して植物が生育できるような環境を整えました。

最後に、4品種の「壱岐ヤマザクラ」や宮崎産のヤマザクラなど6品種を試験的に植えることにし、1メートル程度の幼苗をポリウム感を出すために3本寄せ植えにして、全体で24本植え付けました。

これから数年間は試行錯誤と未知への挑戦が続くと思いますが、成長結果をみて適応する品種を見極め、適切な場所に本数を増やしていければ良いと考えています。



植樹されたヤマザクラ

お花見-ロメ

「花見」は奈良時代から平安時代にかけて、貴族たちの間で行われた花を見ながら歌を詠む会が「花見」の起源とされます。ただ、奈良時代までは中国文化の影響が強く、「花」といえば梅のことを指していました。「桜」のことを指すようになったのは、平安時代からのようです。

一方、庶民にとっての「花見」は、自然発生的に始まった風習のようです。稲作を行う農村では、冬が終わり、春の始まりとともに桜が咲き、その咲き方で一年の豊作凶作を予想していたようです。その桜の木にお神酒やお供え物をして一年の豊穰を願ったということです。

娯楽としての「花見」が庶民の間に広まったのは、豊臣秀吉の時代から江戸時代にかけてのようで江戸時代には徳川吉宗によって江戸のあちこちに桜の植樹が行われています。上野の寛永寺、王子の飛鳥山、品川の御殿山、隅田川堤、小金井堤などが知られています。

開放的な海と空、緑の空間で
ゆったりと流れる時間を楽しんでもらいたい。

県立青島亜熱帯植物園



昭和30年代後半から40年代にかけて、日向路は空前の観光ブームで、当時の新婚カップルの3組に1組は宮崎を訪れたといわれます。その中心が青島・日南海岸で、鬼の洗濯板に囲まれた周囲約1.5kmの緑の小島は一躍全国区となりました。

それから約半世紀、空前の観光ブームは去ったとはいえ、青島はいまも宮崎を代表する観光地であることに変わりはありません。

私は現在、県立青島亜熱帯植物園の所長を勤めています。自然が好きで、休みの日には山歩きを楽しんでいます。緑と常に接していたかったので、気が付いたら公園管理の仕事についていました。

この植物園は青島の目の前にあるので、全国から観光に訪れた方たちが来園してくれます。

参道に面した正門をくぐると、アコウの大木が夏でもひんやりと緑陰を提供しています。「うわあ、涼しい〜」、来園した方はベンチに座り、時間を忘れたように夏の濃い木影のなかから華やかな円形花壇とフラワーマウンテ

ンを見つめています。…「どうです、いい気分でしょう」。私はこの光景を眺めるのが好きです。

都会の植物園のように高密度に植栽しないで、ゆったりと流れる時間を楽しんでもらいたい。しかし、植物園である以上、華やかさも演出したい。そのために、メリハリのある園内景観の創出に心がけています。

例えば、中央の円形花壇を中心に、ブーゲンビリアなどで季節毎に飾り付け、緑の芝生広場との対比を演出し、そのかたわらの樹林の林床はプリムラなどで覆い、花の園の散策を楽しんでいただけるような配慮を行っています。また、今年から海辺の花景観の創出として、早春に楽しめるスイセンやルピナスの植栽を始めました。

大温室や樹形の美しいシマナンヨウスギ、酔っぱらいの木の異名のあるパラボラチョ、オーバースードで冬でも緑の芝生広場、日本有数のコレクションを誇るブーゲンビリア、珍しいヤシ類と真っ青な空と海など、じっくりと楽しんでもらいたいと思います。

荒木 浩輔

一般財団法人みやざき公園協会
県立青島亜熱帯植物園所長



入社して10年。うち5年は県立青島亜熱帯植物園の所長。趣味は山歩きなど自然と親しむこと。



萩の台公園

自然と遊ぼう



宮崎市北部の小高い山の上にある萩の台公園は、ゴミ埋め立て処分場の跡地を整備してつくられました。その一番低い所に水溜りができ、自然に草が生え、生き物がどこからともなくやってきたのが、「トンボ池」と名づけたビオトープです。

萩の台公園のビオトープを楽しむ「トンボ池クラブ」も、早いもので発足してから1年半が過ぎようとしています。少しずつ参加者も増えてきて、定期的に月1回の観察会を開いています。

今回は、参加者の皆さんの様子を取材しました。

立春を過ぎ、春の兆しが見えてきた2月、トンボ池でもカエルの卵が次々と孵化し、誕生したばかりのオタマジャクシが泳ぎはじめました。

「ウー気持ち悪い」「そんなことないよ、触るとプヨプヨだよ」…カエルの卵と誕生したばかりのオタマジャクシを交互に手に取り、楽しい会話がはずむ今井さん母子。小学校1年生のカナちゃんは何にでも興味のある好奇心旺盛な娘さんです。でも、やっぱり女の子ですね、「生き物も好きだけど、花のほうがもっ



と好き」ということです。

「子どもたちに自然の大切さを教えたい」と語る今井さん。

「例えば私が子どものころは、家のまわりでもホタルをたくさん見ることができました。でも今は用水路がコンクリート製になったためか、見ることは出来ません。このように親子で自然を楽しめる場があることはとても良いですね。トンボ池で見つけた生き物は、家に帰ってインターネットで調べています。とても勉強になります」とのこと。

私たちが小学生の頃は、市内にも空き地や小川が残されていて、草摘みや虫採り、魚釣りなどの体験ができました。一面に咲く黄色いタンポポの空き地は子どもたちの天国だったように思います。しかし、今では身近に自然の空間がなくなり、同時に子どもたちの遊ぶ姿も見かけなくなったようです。

子どもを自然のなかで遊ばせたい、虫の名前や草花の名前を教えたい、と思うものの、親が自然のなかで遊んで育っていないので、子どもにも遊び方や生き物や花などを教えられるのが現実のようです。

「トンボのヤゴがオタマジャクシを食べ

てるよ。可愛そうだから離してあげて」「でも、ヤゴも食べないとお腹がすいて死んじゃうよ」。カナちゃんの女の子らしい質問に、それとなく自然界の節理を教えるお母さん。とっても大事な教育だと思いました。

これからもトンボ池に遊びに来て下さい。春にはホトケノザやカラスノエンドウ、ニワゼキショウなどが池のまわり一面を飾り、チョウやカエルなどが活動を開始します。



ビオトープとは、ギリシャ語の「命(Bio)」と「場所(Topos)」という意味の造語でドイツで生まれた自然への考え方、簡単に言うと、生き物が住みやすい環境をつくる、ということなのです。

公園が好き

子供がはじめて出会う自然が、身近な公園。
きっと大人になっても、公園の自然が好きだと思う。



眞鍋 梨絵

一般財団法人みやざき公園協会事業推進課



2001年入社後、約8年間は草花の生産に携わる。
現在は、4歳と1歳の男の子2人の子育て真っ最中。

「いじめ」問題が改めて社会問題になっています。心豊かな子どもに育ててほしいと子育てに悩む方も多いと思います。しかし、実際にはどうしたら良いか。そのヒントを探してみました。

私は現在、4歳と1歳の男の子の子育て真っ盛り中です。公園協会の職員として仕事と育児に追われる毎日ですが、忙しい日々のなかでも子どもたちと過ごす時間を大切に考えています。

子育てについてはあまり難しく考えないようにしていますが、「視覚・聴覚・臭覚・味覚・触覚」…この五感を大切に子育てに取り組んでいます。

休日には、親子でよく公園に行きます。自然のなかで思いっきり走ったり、笑ったりしているとココロも身体もリフレッシュします。親が楽しそうにしていると子どもも楽しくなるみたいです。

公園に行くと、1歳になったばかりの次男は、ハイハイをしながらあっちに行ったりこっちに行ったり…。芝生、落ち葉、木の実など、手のひらで色んな感触を確かめながら楽しんでいるようです。子どもは本来、外で遊ぶのが大好きなんですね。

一方、4歳の長男は、かけっこ、かくれんぼ、サッカー、虫捕り、そして草笛を作ったり、きれいな落ち葉や木の実を集めたり…。自分の知恵で遊びを創り出しているようです。

そんな遊びの中で、「このお花なあに?」、「バッタがいるよ!」、「この葉っぱきれいだね。」など、いろいろな発見を通して、しぜんと親子の会話が弾みます。

そして子どもにとっては、パンジーでも雑草でも同じ花。名前が分からない植物は、家に帰って図鑑で調べるのが習慣です。子どもにとってはもちろん、親の私にとっても色んなことを体験し、学べる場所になっています。

こうやって公園で子どもと過ごす時間が増えたことで、私の中でちょっとした変化が。実際に利用者の立場で公園を利用することで、いろいろなことに気づくようになりました。「ここはこんな楽しみ方もあるんだ」、「ここはもっとこうすれば利用しやすいなあ」、「ここは小さい子どもが入ると危ないかも」など、今まで気づけなかったことに気づき、そして今までとは違う視点で公園を見るようになってきました。

自然の、生命のある緑や花には人工物では代えられない美しさがあります。芝生は裸足で歩くとサラサラと気持ちよく、夏の暑い日など最高の気分です。その緑の絨毯をデザインする色とりどりの草花たち。…いつか機会があったら、大きな芝生の原っぱをつくり、思いっきり子どもたちに開放してあげたい、そして親子で走り回れたら最高に楽しいな…そんな夢を実現できたらなと思います。

これからも公園管理者として、そして利用者として公園と関わっていきりますが、どちらの視点も大切にしながら公園管理に携わっていけたらいいなと思っています。



春蘭

シュンラン再生計画
リポート [1]



シュンラン(春蘭)はその名の示す通り春に花を咲かせる蘭の一種です。

草姿は一見ただけではヤブランのように見え、花は緑色で葉に隠れるようにひっそりと咲きます。シュンランの学名は「シンビジューム ゴエリンギー」と言い、有名な洋ランのシンビジュームの仲間なのですが、園芸店で並んでいる洋ランシンビジュームと比べるとお世辞にも観賞価値が高い植物とは言えません。しかしながら、古くから山菜として食したり、水墨画の題材になったりするなど、日本人とは身近な植物であったようです。

そんな、どちらかと言えば地味な植物であるシュンランでしたが、明治以降、花の色が変わっているものや、葉に斑が入っているものが注目され、植物の値段とは思えないような高額で取引されるようになりました。こういった珍しいシュンランは何千何万株に一株見つかるからこそ価値があり、高額で取引されるのですが、「全てのシュンランは珍しくて価値が高い」というような間違った認識を生み、高額で取引されない普通のシュンランが乱獲されていきまし

ひと昔前、阿波岐原森林公園の松林の林床には一面にシュンランが咲き誇っていました。地元の皆さんは、今でも春になると、シュンランの咲く風景をふる里の風景として懐かしみます。当協会では、昔ながらのシュンラン(春蘭)が咲く松林を復活し、ふる里の自然を取り戻すために、様々な取り組みを行っています。

た。こういった乱獲やシュンランに適した里山の環境が無くなってきたことで、かつて身近であったシュンランは急速に数を減らしてきています。

阿波岐ヶ原の松林も例外ではありません。かつてはシュンランが大量に自生していましたが、ここで見つかった珍しいシュンランが高額で取引されたという噂が広まり、乱獲され、今ではほとんど見るのができなくなったと言われています。

阿波岐ヶ原森林公園ではかつてのシュンラン自生地を復活させるため「南九州大学観賞園芸学研究室 長江 准教授」と協力してシュンランの増殖に取り組んでいます。現在は、阿波岐ヶ原森林公園から保護してきた数株のシュンランを栽培し種子を採取していますが、ゆくゆくは無菌培養技術により、シュンランを増殖させ、自生地に植栽し回復させていく予定です。

稀少で高額の植物ではなく、ふる里の自然として、心に残るシュンランを取り戻していきたいと考えております。

高野 悠

一般財団法人みやざき公園協会ナーセリー事業室



学生時代は主に組織培養技術を利用した植物育種を研究。現在は宮崎の風土にあった植物を探索とともに、植物栽培の楽しさを伝える活動を行っています。

花カレンダー

● 3～4月



ベニバナトキワマンサク
Loropetalum chinense
マンサク科 原産：日本、中国
開花時期：3～4月 ●阿、パ

● 4月



ミツバツツジ
Rhododendron dilatatum
ツツジ科 原産：日本
開花時期：4月 ●阿、西

● 4～5月



キリ *Paulownia tomentosa*
ゴマノハグサ科
開花時期：4～5月 ●西

● 6月



ジャカランダ
Jacaranda mimosifolia
ノウゼンカズラ科 原産：ブラジル
開花時期：6月 ●植、運

● 4～10月



ギョウシ 'サガエ'
Hosta 'Sagae'
ユリ科
開花時期：4～10月 ●英

● 6～10月



アマランダ *Allamanda neriifolia*
キョウチクトウ科
原産：熱帯アメリカ
開花時期：6～10月 ●植、パ

● 9～11月



パラボラチョ *Chorisia insignis*
ノウゼンカズラ科
原産：ブラジル、アルゼンチン
開花時期：9～11月 ●植

● 10～11月



宿根サルビア エレガンス
Salvia elegans
シソ科
開花時期：10～11月 ●英

● 11～12月



トリトマ 'クリスマスパレード'
Kniphofia 'Christmas Parade'
ユリ科 原産：南アフリカ
開花時期：11～12月 ●パ

● 1～3月



キルタンサス *Cyrtanthus mackenii*
ヒガンバナ科
原産：南アメリカ
開花時期：1～3月 ●パ

● 2～3月



スイセン 'テータテート'
Narcissus cyclamineus 'Tete-a-Tete'
ユリ科
開花時期：2～3月 ●植、パ

● 2～3月



河津ザクラ
Prunus lannesiana 'Kawazu-zakura'
バラ科
開花時期：2～3月 ●久、運、阿

霧雨、小雨、小糠(こぬか)雨、五月雨、時雨、梅雨……、雨に関する言葉のなんと多いことでしょう。私たちの住む日本は、まさに「雨」の国です。なかでも雨にピッタリのイメージといえば、やはり梅雨時に咲く『紫陽花(アジサイ)』です。

アジサイは、咲いているうちにだんだん色が変化するため七変化とも言われます。現在最も一般的なのは西洋アジサイですが、もとは日本原産のガクアジサイを品種改良したものです。

しとしとと降る雨に咲くアジサイは、まさに日本の風情です。今回は、日本で古くから親しまれているガクアジサイ・ヤマアジサイを中心にをご紹介します。



土佐の暁



九重山



黒姫



紅



羽衣の舞



富士の滝



胡白蝶



美方八重



沢美人



京の舞姫



おじろてまり



佐久間てまり



深山八重紫



静香



花吹雪



花まつり



わがまちは 花の楽園

～みやざきフラワーマンス始動～

平成25年3月16日(土)～6月16日(日)

みやざきフラワーマンスとは？

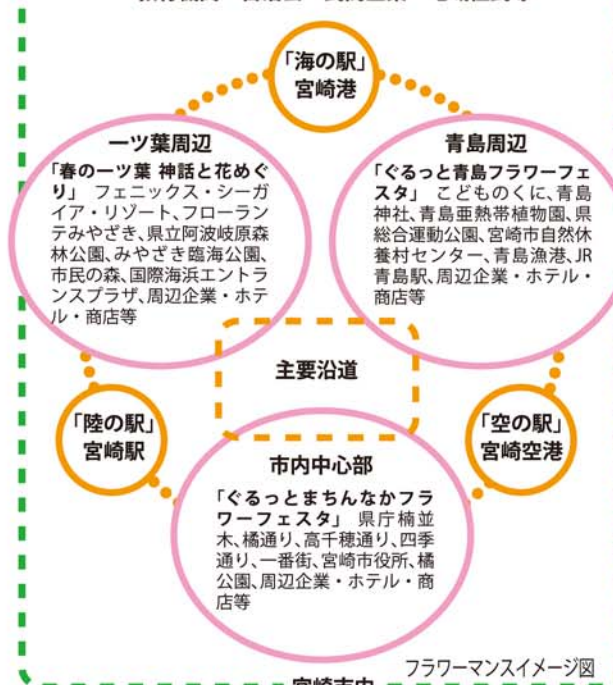
宮崎の魅力は何といっても花の美しさ。なかでも春はもっとも花々が輝き、3月開催の花に関するイベントも、一ツ葉地域周辺では「春の一ツ葉神話と花めぐり」、青島地域では「ぐるっと青島フラワーフェスタ」、宮崎市中心市街地では「春の植栽ボランティア」など目白押しです。

これらの足並みを揃え、さらに空・海・陸の玄関口や各企業・住民など市民と企業がスクラムを組み、一丸となってさらなる花のみやざきの充実を図る取り組みが「フラワーマンス」です。

期間中、宮崎市内が花につつまれます。

花飾りエリアは宮崎市全域とし、さらに宮崎の玄関口ともいべき空港、港、JR宮崎駅などを飾ります。さらに参加事業者・団体・市民は各店舗や事業所、庭などに季節の花を飾ったプランター、イーゼル等を設置し、市民や観光客に「みやざきの美しい花景観」をアピールします。

教育機関 自治会 民間企業 地域住民等



みやざきフラワーマンス
2013年3月16日～6月16日
参加事業所

参加事業者・団体・市民は
フラワーマンス共通ステッ
カーを掲示します。



花の楽園で南国気分
県立青島亜熱帯植物園
 TEL.0985-65-1042 FAX.0985-55-4803
 〒889-2162 宮崎市青島2丁目12-1
<http://www.mppf.or.jp/aoshima/>



[楽しみ・特徴] 3月:春のフラワーショー 4月～5月:ブーゲンコレクション



心癒される日本庭園、スポーツの中心
宮崎県総合運動公園
 TEL.0985-58-6543 FAX.0985-58-4560
 〒889-2151 宮崎市大字熊野1443-12
<http://www.mppf.or.jp/undou/>



[特徴] 宮崎の景勝地を集めた日向景修園、スケールの大きな自然環境



サイクリングやウォーキングに最適
県立阿波岐原森林公園
 TEL.0985-23-2635 FAX.0985-23-2636
 〒880-0834 宮崎市新別府町上和田1336-1
<http://www.mppf.or.jp/awaki/>



[楽しみ] 3月～6月:春のツツ葉 神話と花めぐり



みやざきの海を満喫するならココ!
みやざき臨海公園
 TEL.0985-62-2665 FAX.0985-62-2773
 〒880-0834 宮崎市新別府町前浜1400-1
<http://www.mppf.or.jp/marineparks/>



[楽しみ] 夏:ファミリーで楽しむ海浜レジャー



古墳時代にタイムスリップ
特別史跡公園西都原古墳群
 TEL.0983-42-0024 FAX.0983-42-0242
 〒881-0005 西都市大字三宅西都原5670
<http://www.mppf.or.jp/saito/>



[楽しみ] 春:ウメ、サクラ、ナノハナ



エレガントな佇まいの英国式庭園
国際海浜エントランスプラザ
 TEL.0985-32-1369 FAX.0985-32-1380
 〒880-0836 宮崎市山崎町浜山414-1
http://www.mppf.or.jp/entrance_plaza/



[楽しみ・特徴] 3月:春のフラワーガーデンショー



広い芝生広場でファミリーレジャー
萩の台公園
 TEL.0985-30-2163 FAX.0985-39-5940
 〒880-0125 宮崎市大字広原字竹増迫7150
<http://www.mppf.or.jp/haginodai/>



[特徴] ビオトープ、広大な緑の広場



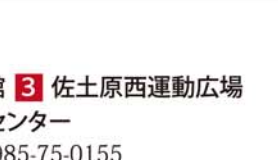
スポーツから花見まで、身近な自然
宮崎市久峰総合公園
 TEL・FAX.0985-73-2782
 〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂13754
<http://www.mppf.or.jp/hisamine/>



[特徴] 桜の名所、多目的なピクニック広場、各種スポーツ施設、野球場



健康とスポーツの拠点
宮崎市佐土原町域体育施設
1 佐土原体育館 2 佐土原西体育館 3 佐土原西運動広場
4 宮崎市佐土原地区農村環境改善センター
 佐土原体育館 TEL.0985-73-7223 FAX.0985-75-0155
 〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島20688-74
<http://www.mppf.or.jp/sadowara/>



[特徴] 体育館での屋内スポーツ、野球、サッカー、伝統的武道



5 佐土原武道館
 〒880-0211 宮崎市佐土原町下那珂12900-2
 TEL・FAX.0985-73-2782
<http://www.mppf.or.jp/sadowara/budoukan/>



[特徴] 体育館での屋内スポーツ、野球、サッカー、伝統的武道



宮崎市街を見下ろす桜の園
宮崎みたま園
 TEL.0985-39-5030
 〒880-0041 宮崎市池内町天神面3901
<http://mppf.or.jp/mitamaen/>



[楽しみ・特徴] 春:隠れた桜の名所



宮崎の花みどりの事なら
Cross Plants(クロスプランツ)
 TEL.0985-74-8787 FAX.0985-74-8788
 〒880-0837 宮崎市村角町東原3113
<http://www.mppf.or.jp/crossplants/>



[特徴] 年間:花みどり見本園で、いろいろな植物が楽しめる